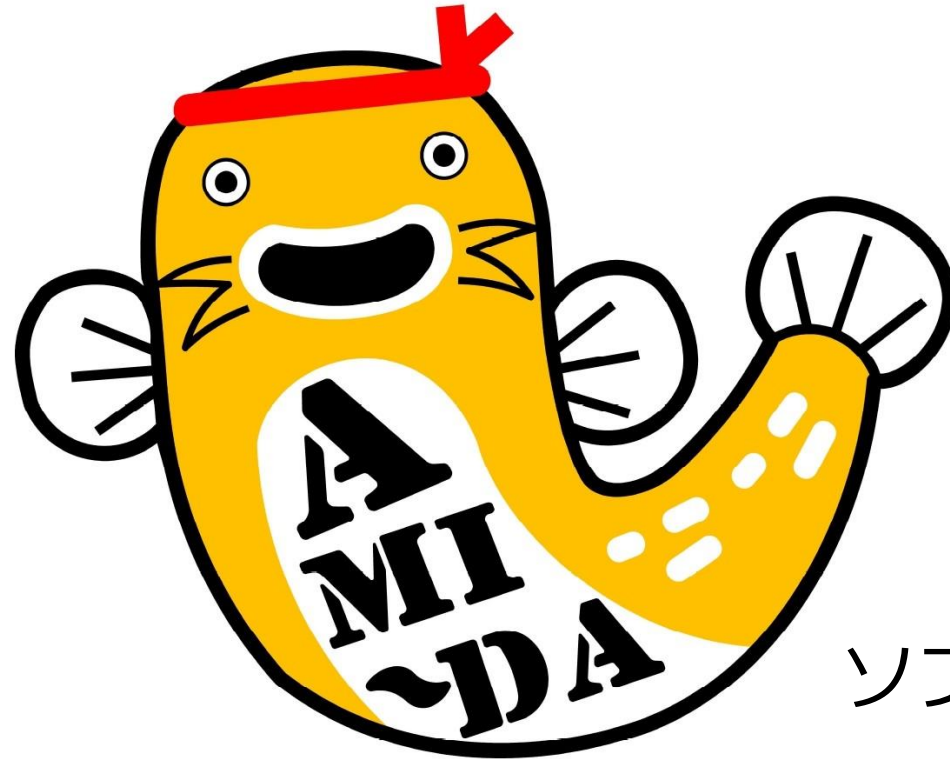


令和3年度元気づくり支援金事業 成果発表資料



ソフト・ハードの両方です。

玉川山田どじょうプロジェクト

代表 守屋浩治

目指すものは・・・

☆ 『どじょう』を通して
地域学習を進める！

☆ 『古民家』を修復し、
地域の中心となる施設を整備する。

そもそもの始まりは？

☆ 『どじょう』 を飼って、育てて食べよう！

—古来の地域食文化の伝承—

そのためには、

① 飼うところ（養殖池）が必要。

- ・ 村内の遊休農地に養殖池が作れないか？

② 食べるところ（食堂）が必要。

- ・ 村内の空き家（古民家）が活用できないか？

歴史を調べたら、

☆ 地域の田畑を潤す『堰（せぎ）』と『どじょう』の深い関係にたどり着いた。

江戸時代に坂本養川が作った『堰（せぎ）』は、村人たちの保守管理によって現在に至り、現役だ！



毎春、村人総出で『堰（せぎ）』の大掃除をする。
水がうまく流れるようにメンテを行う。

昔は、泥と一緒にたくさんの『どじょう』が獲れた！



『せぎ』の大掃除の直会（宴会）は、

『どじょう祭り』

『どじょう』はごちそうだった！
(ちなみに、今でも安価ではないです。)

方向性が定まった！

ここをポイントに深めていこう！

『どじょう』をテーマに、
地域を元気にしよう！

↓
「地域発 元気づくり支援金」採択！

↓
中山間地の拠点づくりを
みんなと一緒に進めよう！

☆どじょう養殖池にて

養殖池の整備

◎地域の賛同者が名乗り
を上げてボランティアで
協力！



☆どじょう養殖池にて

子どもたちとどじょう
のふれあいの様子



☆古民家改修

床板撤去



☆古民家改修

片付け最中



☆古民家改修

土台挽き



玉川山田の村から正面にそびえる八ヶ岳の阿弥陀岳にちなんで、

『どじょうハウス阿弥陀亭』 と命名

令和3年12月 完成

- ◎ 村内会議や慰労会にも利用される
- ◎ 令和4年は御柱祭があり、おおいに周知できた
- ◎ 地域の伝統食という高いアンテナに惹かれた来店者



県外からの顧客も来訪 メニューは、

☆馬肉のすき焼き

☆馬刺し

☆どじょう鍋 他

阿弥陀亭 外観



長野県地域元気づくり支援金事業



AMI-DA

どなたでもご利用いただけます

☆施設案内

阿弥陀亭玄関





建物内に村の歴史を展示

☆施設案内

建物入り口

村の人たちから「良い場所
を作ってくれた」との声



☆施設案内

玄関入口



☆施設案内

玄関吹き抜け



☆施設案内

客席全景



☆施設案内

料理の様子



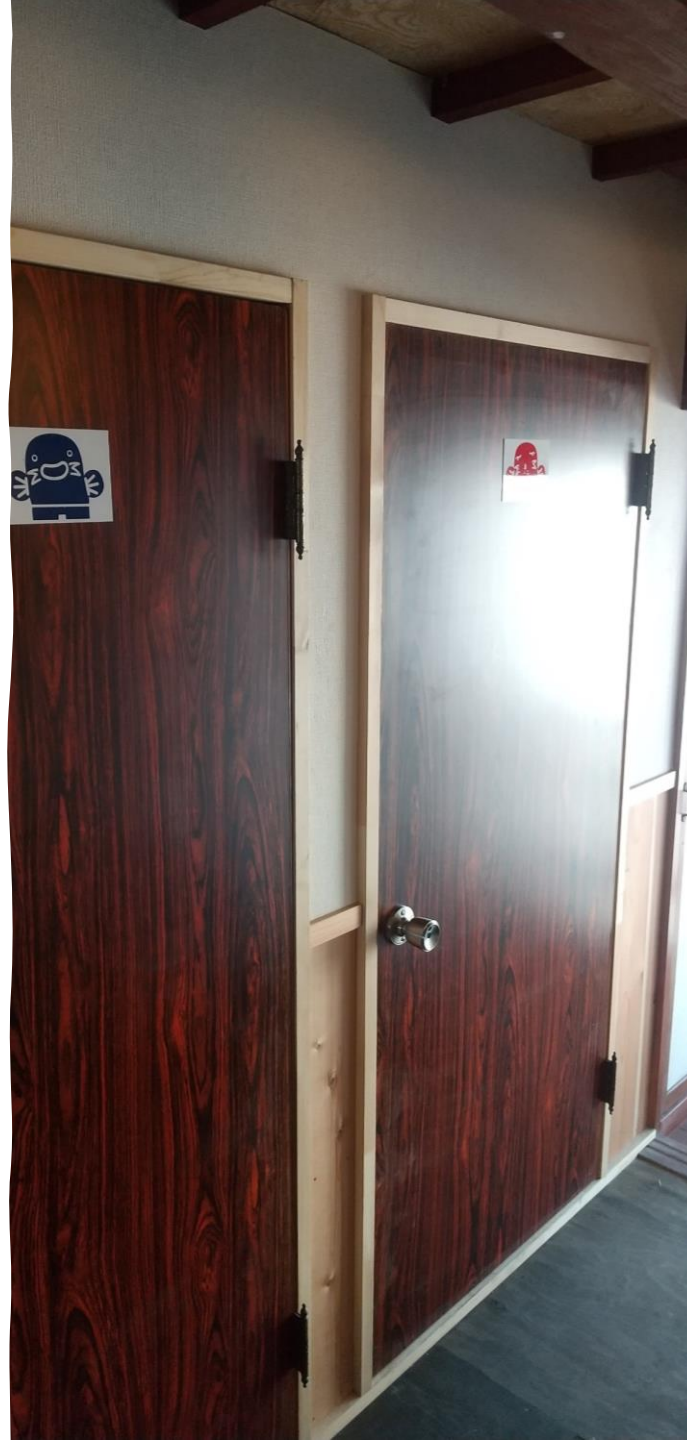
☆施設案内

レトロ洗面所



☆施設案内

トイレ



これからのチャレンジ計画！



“よらざあ！”

☆ 『寺子屋あみーだ』の開設

- ・夏休みの勉強、居場所
- ・書初め
- ・餅つき大会

☆ 季節の収穫祭の実施

- ・農産物で楽しむ
- ・収穫体験

☆玉川山田～蓼科 乙女滝までのトレッキング実施

(滝の湯堰の一部です。)

☆どじょう生育セミナー実施

- ・長野県漁業試験場の協力を得て再チャレンジ

☆土づくりセミナー（第2回目）の実施

- ・安心安全な農地の中でないと、どじょうが育たない



さらなるチャレンジを続けてまいります。

ご清聴ありがとうございました

